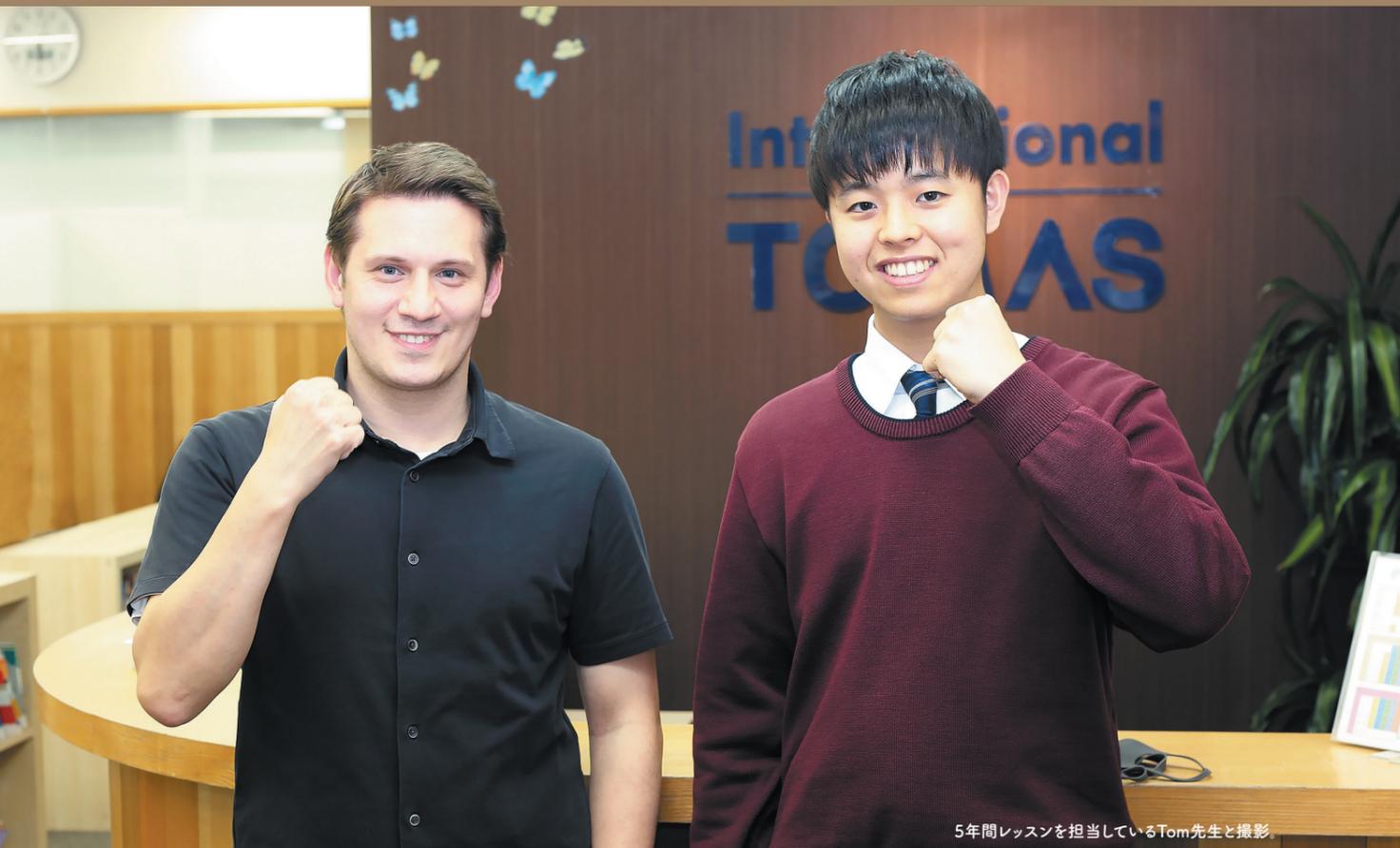


2021年度大学入試合格体験談 英語力を武器に志望校合格!

“使える英語”と“受験英語”のどちらも習得。  
4技能を総合的に鍛えて、憧れの大学に合格!



5年間レッスンを担当しているTom先生と撮影。

02

上智大学(外国語学部)合格

他合格校:慶應義塾大学(文学部) 立教大学(文学部)

梶谷 蓮君

(新渡戸文化高等学校)

梶谷君の  
合格までの  
道のり

- 中1 附属の小学校から新渡戸文化中学校へ内部進学。夏休みに初めてアメリカへ短期留学。
- 中2 短期留学のためのスピーキング対策としてインターTOMAS荻窪スクールに入会。
- 中3 志望校を上智大学 外国語学部へ決定。受験勉強へのモチベーションがアップし、インターTOMASで受験対策の個人レッスンを開始。
- 高1 新渡戸文化高等学校へ内部進学。英検2級に合格。
- 高2 英検準1級に合格。
- 高3 TEAPで9割近いスコアを獲得。公募制推薦で上智大学 外国語学部英語学科、総合型選抜で慶應義塾大学 文学部、立教大学 文学部英米文学専修に合格。

留学で海外への関心が高まり  
上智大学が憧れの志望校に

中学校の3年間、毎年アメリカ・フロリダ州の名門スポーツアカデミーであるIMGアカデミーに短期留学していたという梶谷君。テニスの錦織圭選手も学んだアカデミーには世界中から多種多様なバックグラウンドをもつプレイヤーが集まり、寮生活のなかで多くの刺激を得られたことで自然とグローバルな環境への関心が高まってきました。幼少期にインターナショナルスクールに通っていたこともあり、すでに日常会話レベルの英語力はあったものの、より複雑な時事問題や社会問題について英語でディスカッションすることは難しかったため、スピーキング力の強化を目的にインターTOMASへ入会しました。

梶谷君が大学受験を意識したのは、中3で希望進路調査が行われたときのこと。英語力はもちろん、国際的な教養を身につけたと考えて大学を調べていたところ、上智大学 外国語学部英語学科が目にとまりました。その後、オープンキャンパスなどにも頻りに足を運び、上智大学は“憧れの志望校”になったといいます。

“使える英語”も“受験英語”もインターで対策  
上智大・慶應大・立教大の3校に合格!

上智大学合格を目標に定めてからは、インターでスピーキング対策だけでなく、英検やTEAP対策、過去問演習などの受験対策にも注力するように。高2から大手予備校にも通いましたが、英語はインターだけで勉強を続けました。「もともと使える英語力をつけてたくて入会しましたが、受験対策で長文読解や英作文、和訳などもしっかり見てもらえたので安心でしたし、上智大OBOGの先生が多いのもモチベーションにつながりました」

一般選抜での受験を前提にしつつも、上智大学の公募制推薦入試は募集人数が一般選抜とほぼ同数であることを知り、「合格のチャンスが増えるなら」と高3の春に出願を決意。出願条件として必要な英検準1級にはすでに高2で合格していましたが、高3の10月にTEAPも受験し400点満点中351点を獲得しました。第一志望の外国語学部英語学科は英語資格のスコア基準が

もっとも高く設定されており、TEAPの場合330点以上のスコアが必須ですが、その基準を優に超えているうえにスピーキングの項目はなんと満点。これには本人も驚いたようで、「Tom先生とスピーキング対策を続けてきたおかげですね」

入試本番でも、併願した慶應義塾大学の試験では小論文と現代文の出来に少し不安があったといいますが、英語では自信をもって解答ができたため結果は見事合格。立教大学の試験でも、今年から事前のアナウンスなく実施された英語での面接を難なくクリア。一般的に総合型選抜で複数の難関校に合格するケースはまれですが、これまで積み上げてきた実力を遺憾なく発揮し、上智大学、慶應義塾大学、立教大学の3校から合格を勝ち取ることができました。

目に見える結果を積み重ねることで  
英語が「好き」から「得意」へ

4技能をバランスよく身につけた高い英語力が武器となり、憧れの志望校合格を果たした梶谷君。インター入会時から英語が好きだったとはいえ、当時は「得意科目」とは認識していなかったといいます。「インターに通い始めてから、英検に合格したり模試で偏差値70を超えたりといった目に見える結果を積み重ねていくうちに、『英語が得意でよかった』と感じるようになりました。受験はゴールではありませんが、大学に合格できた今改めてインターで英語学習を続けてきた成果を実感しています」と振り返りました。

“英語一点集中”で  
受験の選択肢が増えた

英語に一点集中で受験も突破するというインター TOMASが提唱する「英語戦略教科作戦」を愚直に遂行してくれました。英語をマスターすることで、受験においても選択肢が増えたのは間違いありません。さらに英語を磨き、将来の可能性を広げていってください。



インターTOMAS荻窪スクール 西村 展和先生



上智大OBの中島先生による受験指導で直前期の追い込みをかけました。



「インターに来ると海外にいるようで楽しい」と語る梶谷君。